

# モニタリングに係る「特段の事情」申請書

諏訪広域連合長あて

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

※ モニタリングを自宅で実施できない状況が改善しない場合は、毎月の提出が必要です。

モニタリング困難月	令和 ○ 年 8 月	申請区分	1 新規 ② 継続( 令和 ○ 年 7 月 ~ ) 3 終了( 年 月 日 )	
事業所名	〇〇介護支援事業所	事業所電話番号	〇〇-〇〇〇〇	
		担当介護支援専門員	諏訪 花子	
利用者	被保険者番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	要介護度	介1・介2・介3・介4・介5
	フリガナ	コウケン タロウ	生年月日	大 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ( 80 歳 )
	氏名	広域 太郎		③
	住所	〇〇市〇〇町 1234	世帯状況	1 独居 2 高齢者世帯 ③ その他( 長男と二人暮らし )
在宅でモニタリングができない理由	<p>〈例〉 長男（統合失調症）と2人暮らし。妻はH〇に他界。長男は就労せず、障害年金の収入があっても年金が入ると浪費し、金銭管理ができない。父親（本人）の通帳を勝手に持ち出し、多額を使い込んでしまうため、日常生活は困窮していた。</p> <p>長男から通帳を取り戻すため、取っ組み合いの喧嘩になった。本人の手元に通帳を取り戻すが、いつも通帳を狙われており寝ていても気が休まらない。顔を合わせると喧嘩になるので、お互い顔を合わせないように食事等も別々にしていた。</p> <p>R〇年、腰痛発症。翌月初め自宅にて体動困難となり、救急搬送され腰椎圧迫骨折で入院。本人は長男との生活を強く拒否。現在の居場所も伝えていない。</p> <p>退院後は、老健〇〇へ長期入所を予定。前立腺癌のため、〇ヵ月に一度ホルモン療法を実施するために通院が必要だが、長男には父親（本人）の居場所を伝えていないので、自宅には帰れない状況である。</p>			
介護者の状況	<p>長男は独居。障がい者福祉サービスヘルパー訪問週1回生活援助で介入。障がい者年金で生活している。年金支給日、財布に10円しかなく社協のフードドライブで食料支援している。</p>			
今後の方針	<p>1 現在の状況が解決したら在宅生活に戻る</p> <p>② 現在、介護老人福祉施設等への入所申込みをしており、入所待ちの状態</p> <p>・ 入所申込施設 <u>1</u> 箇所</p> <p>※ 申込済施設の種類に〇してください ( 特養・老健・GH・有料・サ高住 等 )</p> <p>3 その他 ( )</p>			
本人面接日	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日	実施場所	ショートステイ □□ )	